

あさみ いせき
朝見遺跡 (第6次) その3

所在地：松阪市和屋町・立田町(まつさかし わやちょう・たつたちょう)

位置情報URL：[三重県地図情報サービス 朝見遺跡発掘調査現場](#)

井戸2基を調査しました

一番広い2区と同時に進めてきた1区(2区の西側に位置する)の半分の調査が完了しました。全景写真からもわかるように、井戸が2基見つかりました。井戸の発見は貴重な情報をもたらしてくれる一方で、その掘削作業は時に大変な場合があります。

今回、大きい方の井戸1を掘り進めていくと、中央に四角い井戸枠が見つかりました。しかし、遺構の記録をとる作業中にも、井戸の壁面の砂の層から、驚くほどの水が湧き出てきました。その水は相当に冷たく、厳しい夏の日差しが差し込む日であったにもかかわらず、冷たすぎて作業が長く続けられないほどでした。また、その水量も、2台のポンプを稼働しても間に合わないほど多く、記録作業を難しくさせました。



【上】1区西側の全景 南北・東西方向に中世(鎌倉・室町時代)の溝が走っています。

【右上】井戸1で見つかった井戸枠の様子。平安時代の縦板・横板組の井戸枠でした。井戸が埋まった土からは、志摩式製塩土器など多くの土器片が見つかりました。

【右下】井戸2から出土した土師器。井戸2は中世のもので、写真左の小さい皿は、手のひらに収まるほどの大きさです。

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課

担当者：渡辺・石井・中井・今西

電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp